

## 第二次霧島市総合計画(前期基本計画)総括シート

政策体系	政策No.	1	政策名	にぎわい(産業の活力があふれ、交流と賑わいが生まれるまちづくり)	施策幹事課					
	施策No.	3	施策名	活力ある農・林・水産業の振興	農政畜産課					
計画期間(2018年度～2022年度)における施策の方針 (総合計画書から引用)					関係課					
<p>農林水産業の生産性の向上や担い手・新規就労者の確保・育成に努めるとともに、農林水産業を支える基盤整備に取り組みます。</p> <p>また、地域特性を生かした農山漁村の振興を図るとともに、良質で付加価値の高い農林水産物の生産等を通じて、農林水産業者の所得が向上し、後継者の確保につながる好循環を目指します。</p>					林務水産課、耕地課、商工振興課、観光PR課、農業委員会事務局					
施策の方針に対する達成状況(2018～2022)				後期計画における課題						
<p>■ 担い手経営発展等支援事業等の実施により、担い手の確保や農作業の効率化が図られた。林業就業者向けの福利厚生支援等により、担い手の育成や新規就労者の雇用拡大が図られた。</p> <p>■ 機械導入や施設整備に対する助成、ほ場整備により、生産性・効率性が向上するなど、生産基盤の充実が図られた。</p> <p>■ 鳥獣被害防止対策の実施や森林作業道等の整備への助成などにより、耕作放棄地の増加の抑制や適切な森林整備が行われた。</p> <p>■ 農業の「稼ぐ力」向上プロジェクト推進事業や霧島ガストロミープランド「ゲンセン霧島」、ふるさと納税などにより、一定のPR効果は得られた。</p> <p>■ 全国和牛能力共進会を成功させるとともに、種牛の部で内閣総理大臣賞を受賞するなど、畜産物の認知度や付加価値等の向上を図ることができた。</p>				<p>■ 農林水産業の担い手の確保・育成に対する支援の継続と、就農・就業直後の所得向上。</p> <p>■ 農業用機械・設備、農業生産基盤に係る施設の老朽化や、更新等に係る負担増。</p> <p>■ 捕獲隊の隊員確保や、林業の自立を目指した生産性向上・コスト削減。</p> <p>■ 「ゲンセン霧島」の認知度やふるさと納税返礼品の魅力度の向上、農林水産物の販路拡大に向けた効果的なPR。</p> <p>■ 本市農林水産物の更なる認知度向上や高付加価値化。</p>						
成果指標 (意図の達成度を表す指標)		◎目標達成(100%以上)    △目標を未達成(100%未満)								
		単位	目標達成の方向性	区分	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	達成率 結果
A	農林水産業に活力があると思う市民の割合	%	更なる増加を目指します	目標値	25.1	26.5	27.9	29.2	30.6	110.0%
				実績値	-	-	-	-	33.6	◎
B	農業粗生産額	百万円	減少の抑制を目指します	目標値	21,700	21,700	21,700	21,700	21,700	104.0%
				実績値	21,940	22,120	22,150	21,220	22,660	◎
C	林業生産額	百万円	減少の抑制を目指します	目標値	880	880	880	880	880	124.0%
				実績値	694	830	852	1,071	1,095	◎
D	水産業生産額	百万円	減少の抑制を目指します	目標値	150	150	150	150	150	227.0%
				実績値	230	222	171	140	340	◎
E	新規就農者数	人	更なる増加を目指します	目標値	10	10	10	10	10	50.0%
				実績値	17	11	10	5	5	△
基本事業	5年間の取組内容			5年間の取組成果			後期計画における課題			
①農林水産業の担い手の育成・確保	<p>■ 担い手経営発展等支援事業や農業次世代人材投資事業等を実施した。</p> <p>■ 林業就業者の福利厚生の充実や新規参入定住化促進事業等に取り組んだ。</p> <p>■ 種苗放流事業や産卵漁礁設置事業など「育てる漁業」へ支援を行った。</p>			<p>■ 担い手の確保と機械・施設整備による農作業の効率化が図られた。</p> <p>■ 林業認定事業者の担い手の育成や新規就労者の雇用拡大に繋がった。</p> <p>■ 漁獲量の維持による漁業就業者の経営安定が図られた。</p>			<p>■ 農林水産業の担い手の確保・育成に対する支援の継続と就農・就業直後の所得向上。</p> <p>■ 森林整備に従事する現場技術員の確保・育成と就労環境の改善。</p> <p>■ 漁業者の高齢化等による担い手不足。</p>			
②生産基盤の整備	<p>■ 国内外への販路の拡大を図るため、荒茶加工施設の整備に対して助成を行った。</p> <p>■ 木材生産コストの低減による生産量の増大を図るため、高性能林業機械の導入に対して助成を行った。</p> <p>■ 新たに4地区35団地でほ場整備の事業採択を行った。</p>			<p>■ 国内外の販売先に対応できる荒茶加工施設が整備された。</p> <p>■ 機械の導入により間伐等の作業効率が高まり、森林所有者の負担が軽減した。</p> <p>■ 4地区13団地のほ場整備が完了し、生産基盤の充実が図られた。</p>			<p>■ 原油高騰に伴う燃油や肥料、資材等コストの高騰。</p> <p>■ 農業用機械・設備、農業生産基盤に係る施設の老朽化や、更新等に係る負担増。</p> <p>■ 新たな森林整備に伴う支援策の検討。</p> <p>■ 狭小不整形農地等の耕作放棄地の拡大。</p>			
③農山漁村の振興	<p>■ 農林産物の被害軽減のため、鳥獣捕獲を実施しつつ、侵入防止柵の設置を行った。</p> <p>■ 木材生産量の増大や再造林を推進するための間伐等の施業や森林作業道等の整備に対する市の上乗せ助成を行った。</p>			<p>■ 鳥獣被害の軽減により、耕作放棄地の増加が抑制された。</p> <p>■ 上乗せ助成が森林所有者の負担軽減に繋がり、適切な森林整備が行われた。</p>			<p>■ 捕獲隊の高齢化に伴う隊員確保や人口減少等による荒廃農地や空き家等の増加。</p> <p>■ 林業の自立を目指した生産性の向上やコスト削減の取組。</p>			
④農林水産業の稼ぐ力の向上	<p>■ 農業の「稼ぐ力」向上プロジェクト推進事業を活用し、霧島茶をはじめ農林水産物のブランド化等に取り組んだ。</p> <p>■ 霧島ガストロミープランド「ゲンセン霧島」認定制度を推進した。認定品の販路拡大に向け、農産物を航空機で首都圏に運び、販売する産直空輸実証事業に取り組んだ。</p> <p>■ ふるさと納税ポータルサイトを1サイトから12サイトに拡充するとともに、返礼品数を4倍以上に増やし、約800品を登録した。</p> <p>■ 全国和牛能力共進会鹿児島県大会の開催に向け、出品牛育成やおもてなし体制の構築に取り組んだ。</p>			<p>■ 霧島茶の地域団体商標登録や全国茶品評会において上位に入賞したことによりブランド力が向上し、販路拡大や生産者の収益向上に繋がった。</p> <p>■ 産直空輸実証事業において、首都圏のイトーヨーカドーや羽田空港で野菜や果物類の試験販売を行い、消費者やバイヤー、生産者から高い評価を得た。</p> <p>■ ふるさと納税の寄附額が2017年度約5億2,000万円から2022年度14億8,950万円に増加した。</p> <p>■ 市の出品牛が種牛の部で内閣総理大臣賞を受賞するとともに、同時開催した特産品市等により霧島市産品をPRできた。</p>			<p>■ ポストコロナに向けた、新たなPRを行う生産者や団体の掘り起こし。</p> <p>■ 「ゲンセン霧島」認定制度に新設した、農林水産物部門における認定品の充実を図る。</p> <p>■ 「ゲンセン霧島」ブランドの認知度向上と販路拡大。</p> <p>■ ふるさと納税返礼品の魅力度アップや魅力発信、認知度向上。</p> <p>■ 本市農林水産物の更なる認知度向上や高付加価値化。</p>			